

内閣府特命担当大臣表彰

有限会社ゼムケンサービス



受賞の言葉

福岡県北九州市は、公害を克服した「環境未来都市」として知られていますが、公害克服に最初に立ち上がったのは戸畑の婦人会でした。その女性力躍進のDNAは多くの企業に受け継がれ、私の「女性力で建設業を活性化する」という使命もそこから生まれました。受賞に感慨無量です。亡き先代と亡き夫の魂と今、私に繋がっている沢山の輝く女性男性と共に「男女共創」で建設業界を元気に、「女性力による国家の成長」に邁進して行きます。 代表取締役 籠田 淳子

取組の紹介

男性が多数を占める建設業界において、大工の娘である籠田淳子代表は、「女性だからできる経営」を決断。その強いリーダーシップのもと、「全社経営」と「ダイバーシティ経営」、さらには「男女共創」の実践で業界内で弱みとされていた「女性」であることを「強み」へと転換させ、女性視点の強調戦略により増収増益と高付加価値化を同時に実現して来ました。職人の技術が落ちないためには女性の提案力やデザイン力を活かすことと同時に、建築業界の昔からの慣習しきたり伝統を大切する必要があるとし、男女比7対3の建設業界を「女性主導の建設業界」へのイノベーションを推進したいと考えています。

女性登用に関する数値目標は、女性比率60%～80%、女性管理職比率は50%以上です。採用方針は、ワークシェアリングの要領を活かし、基本的に2人ずつの採用を計画。孤独にならず、同期として時には励まし、切磋琢磨できるようにしています。現行年齢は、ロールモデルとなるべく、代表取締役と同じ50歳前後の年代を4人、40歳前後の年代を2人、30歳前後が3人の構成になっています。

女性登用は、2003年母親で高意欲の女性社員の入社を機に明確化され、その後採用された2名の主婦（一級建築士、デザイナー）を子ども送迎などの理由からパート社員とし、ワークシェアリングを始めました。以来、産休や育休や介護休暇などの経験を経て、仕事のクラウド化を導入、環境整備と人財育成の両輪で女性力を高め合う社風が創り出されています。また、自社にバーチャルなテレワークシステムを導入し、在宅勤務も推進、男女共創の仕事の取組みを行い、建築に従事したことがない女性にも有料インターンで働くチャンスをつくっています。

全国的女性建築家・デザイナー等で「JKDT女性建築デザインチーム」を結成、「家づくり店づくりまちづくり、そして幸せづくり」をテーマに、生活力が仕事力であり、生活者である女性が主導する設計施工を打ち出しました。その活躍により、5年で売上・利益とも倍増を実現しました。女性の感性を生かしたデザイン提案や消費の決定権の8割をもっているとされる女性が思わず買いたくなるような空間プロデュース、ブランディングアプローチ他、新たな付加価値をもった新事業を産み出し、社員一人ひとりの強みで粗利益を向上させました。

人材育成では、OJT・OffJTにも積極的に取り組み、社員一人あたり年間40万円を投資。建築デザインや営業ロールプレイング研修や経営計画作成・財務・マネジメント、「女性視点」を高める生活力向上講座など幅広く行っています。「毎年1つ資格試験にチャレンジしよう」と資格取得を奨励しています。

我が社では、ワークライフバランスを「各自の仕事と生活の相乗効果として経営に独自性と高付加価値をつくること」と定義、単に福利厚生ではなく、提案力・デザイン力を支える重要な資源とし、個人の日常的な気づきをチームで統合し、付加価値の高い提案をお客様に提供しています。2014年に入り、女性視点を「五感設計」として新たに構築、センスの有無でなく、誰もが自分の感性を活かした設計デザインができる仕組みを開発、統一されたオリジナルのイメージスケールを用い、従前の視覚優先の空間設計に加え、顧客が言葉にしない感性にアプローチするものが、目には見えない触感や音の提案であり香りの設計です。

「オモイをカタチに 建築は統合芸術」という経営理念は女性登用によって具現化されています。ワークライフバランスや女性力を明確に打ち出し、オリジナル社員手帳や朝礼による社内浸透だけでなく、まちづくりイベントや、ラジオ、講演、建築士会の活動などで社外の女性の社会参画にも波及させています。ビジョンには『永続するチームワークで、一人ひとりがニッポンの空に輝く天の川となり、世界に翔(はばた)き、国家の発展に貢献します』と明記、真っ暗闇の空に希望がみえる天の川の輝きを、女性建築デザインチームからつながる全国の女性たちの小さな輝きに見立てています。籠田代表は「女性力による国家の成長」

をテーマに全国各地で講演、パネリストとしても活躍、業界紙2紙でコラムを執筆しています。社員も2年前から県域FM局にレギュラー出演するなど全社で女性活用を訴え、ホームページやYouTubeなどでも情報開示しています。籠田代表は、敢えて自らをスター代表と称し、女性建築士・デザイナー、一人ひとりがスターとして、ニッポンの空に輝く天の川となることを信じ、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌を通して「女性力の活用」を強く啓蒙、女性が輝く社会の実現を心より願っています。

